

小児外科専門医後期臨床研修プログラム（小児外科）

文責：近藤 公男

1. プログラムの目的と特徴

小児外科専門医の育成

2. 取得できる専門医

小児外科専門医

3. 専門医取得の要件

- 1) 日本国籍を有すること。
- 2) 認定施設において、小児外科の研修を通算3年以上行なっていること。
- 3) 外科医として7年以上（うち5年以上は臨床研修とする）の経験を有すること。
- 4) 外科専門医あるいは日本外科学会の認定医の資格を持つこと。
- 5) 小児外科に関する筆頭者としての研究論文および症例報告を、それぞれ1篇以上、およびその他の論文を3篇以上発表していること
- 6) 学会、地方会または研究会において、小児外科に関する発表を、演者として3回以上おこなっていること
- 7) 別に定める臨床経験および研修指数をもっていること
- 8) 申請の時点で引き続いて3年以上小児外科学会々員であること
- 9) 小児外科学会の行なう筆記試験に合格していること

4. プログラムの研修内容

研修前半では一般外科研修、外科各科をローテイトしながら十分に行ない、まず外科専門医を取得する。研修後半からは小児外科専従となり小児外科疾患、新生児外科疾患を研修し、最短で8年目での小児外科専門医取得を目標とする。

5. 指導医・専門医・認定医取得医師名

大澤義弘（日本小児外科学会指導医・専門医）

近藤公男（日本小児外科学会専門医）

6. メッセージ

子供の手術を安心して任せられる外科医が理想です。小児科医同様に小児外科医も現状は厳しいですが、手術でしか助けられない子供たちのために一汗かいてくれる、若いエネルギーに期待しています。